

大田市立病院における、小児科常勤医数の増減に伴う診療への影響

ほり だい すけ¹⁾ なか むら み く¹⁾ まつ むら み さき¹⁾²⁾
やま だ けん じ¹⁾³⁾ かじ の やす ひさ¹⁾ にし お ゆう じ⁴⁾
山 田 健 治¹⁾³⁾ 楫 野 恭 久¹⁾ 西 尾 祐 二⁴⁾

キーワード：小児科常勤医数，地域医療

要 旨

島根県央に位置する大田市立病院（全229床）では小児科常勤医数が過去4年間で最大3人から最小1人の間で増減があった。常勤医3人の時には他院への診療応援もできていたが、1人期では逆に当院への応援を島根大学小児科に依頼した。1人期は病院全体の受診数が増加したにもかかわらず小児科外来受診者数は減っており新型コロナウイルス感染症流行による小児患者受診控えによる影響も考えられた。また出生数に大きな変化がない一方で小児科入院扱いの新生児は増加していた。小児科医の時間外勤務時間は3人期、その後の1人期で減少し、さらに全期間を通して勤務していた医師における時間外の業務内容では1人期において救急外来の割合が減少し、代わりに新生児関連が増加していた。

圏域内の小児科医減少も予想されており、今後も周囲の医療機関との幅広い協力体制が重要である。

【はじめに】

全国の小児科医の数が微増傾向である¹⁾一方で、僻地の小児科医不足は依然深刻である。大田市立病院（以下、当院）は島根県の中央部に位置する公立病院であるが、最近4年間に小児科常勤医数

が2人→3人→2人→1人→2人と変わった。この間に医師の業務内容に変更があり今回その内容を検討した。

東西に長い島根県のほぼ中央に位置する大田市は、かつての令制国でいう石見国（いわみのくに）の東端にあり同じ島根県の出雲国（いづものくに）の西側と接している。2023年11月末現在の人口は32,246人で減少傾向が続いている²⁾。医療圏としては周囲の美郷町、川本町、邑南町を含め「大田圏域」となっているが、周辺地域から当院への受診は、比較的距離の近い美郷町からの患者が多い

Daisuke HORI et al.

1) 大田市立病院 小児科

2) 現) 聖隷三方原病院 小児科

3) 現) 島根県立中央病院 小児科

4) 大田市立病院 院長

連絡先：〒694-0063 島根県大田市大田町吉永1428番地3

大田市立病院 小児科